



「さらなる飛翔」

創立25周年記念(きずな特集号)の発刊にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

平成13年4月(2001年)社団法人西東京市シルバー人材センター統合設立、平成23年4月(2011年)公益社団法人西東京市シルバー人材センターへ移行、令和8年4月(2026年)25周年を迎えました。

社会情勢は大きな転換期を迎え、高齢者を取り巻く環境も多様化しつつあります。健康寿命の延伸、地域コミュニティの再編、働き方の変容など、私たちに求められる役割は一層重要性を増しております。

こうした時代に応えるべく、当センターは「安全・安心な就業環境の確立」「生きがいと誇りの醸成」「地域社会への貢献」を柱に、より一層の充実と発展を期してまいります。「人生100年時代」を迎え、魅力あるシルバー人材センターを目指してまいります。今後とも皆様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表理事
会長

松山 芳幸

平成 23 年 3 月から令和 8 年 6 月までのあゆみ

平成 23 年 (2011) 一般社団法人から公益社団法人に移行する

3 月 社団法人最後の定期総会
4 月 公益社団法人に移行 第 1 回臨時理事会 (SC 事業運営室)
6 月 公益法人第 1 回定時総会
8 月 組織改編検討委員会を設置・分科会発足
9 月 設立十周年記念事業感謝の集い (アスタ 2 階)

平成 24 年 (2012) 東日本大震災復興支援事業 (物産・パネル展)

1 月 FM 西東京 出演 (三役他)
3 月 東日本大震災復興支援事業 (物産・パネル展) (アスタ)
6 月 第 2 回定時総会 (こもれびホール)
7 月 職群・職種別就業者会議 (交通擁護・校地内外清掃等 出席者 38 名)
8 月 職群・職種別就業者会議 (学校施設管理 出席者 38 名)
財団による適正就業巡回指導

平成 25 年 (2013) 東京マラソンボランティア初参加

1 月 安全就業パトロール (財団指導員来所)
2 月 第 5 地域会員研修会 (小金井市民交流センター)
6 月 東京マラソンボランティア参加 (初)
7 月 第 3 回定時総会 (こもれびホール)
8 月 交通安全優良事業所表彰 (田無警察署)
9 月 第 5 地域安全就業推進の集い (武蔵野スイングホール)
11 月 適正就業巡回調査 (しごと財団指導員来所)
高年齢者クラブ主催こみゼロ運動 (401 名参加)
第 5 地域会員研修会 (成美教育文化会館)

平成 26 年 (2014) ホームページのリニューアル

2 月 第 5 地域理事研修会 (アスタ)

6 月 第 4 回定時総会 (こもれびホール)
SOS カードを配布

7 月 西東京市健康応援団に登録
田無警察署より感謝状授与 (7 月、12 月)
9 月 西東京消防署より感謝状授与
12 月 ホームページのリニューアル

平成 27 年 (2015) 安全就業優良シルバー人材センターを受賞

2 月 第 5 地域理事監事研修会 (アスタ市民ホール)
4 月 3 か年計画スタート
6 月 第 5 回定時総会 (こもれびホール)
7 月 市報配布事業就業者研修会
9 月 田無踏切ボランティア 田無警察署より感謝状 (7 月、12 月)
安全就業優良シルバー人材センター表彰 (財団)
「会員のしおり」改定し全会員に配布
11 月 学校関係就業者研修会
放置自転車等整理指導就業者研修会

平成 28 年 (2016) 就業開拓推進チーム発足

3 月 新就業会員研修会
6 月 第 6 回定時総会 (こもれびホール)
就業開拓推進チーム発足
9 月 第 5 地域理事・監事研修会 (アスタ市民ホール)
12 月 市報配布事業就業者研修会

平成 29 年 (2017) 初の新入学児童交通安全の集い

1 月 就業者派遣事業開始
3 月 新入学児童交通安全の集い (初) (田無自動車教習所)
6 月 第 7 回定時総会 (こもれびホール)
安全就業優良シルバー人材センター表彰
9 月 東京消防庁から感謝状授与
全会員を対象に就業状況アンケート実施

平成 30 年 (2018)

Smile to Smile 稼働開始

- 6 月 第 8 回定時総会 (こもれびホール)
 7 月 安全就業強化月間
 8 月 田無警察署より感謝状授与 (8 月、11 月)
 10 月 Smile to Smile 稼働開始

令和元年 (2019)

シルバー人材センター事務所移転

- 3 月 当センター事務所移転 (UR プロムナード東伏見 69 棟)
 4 月 第 3 次中期計画スタート (平成 31 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月)
 5 月 警視庁より感謝状授与 (地域安全活動)
 6 月 第 9 回定時社員総会 (こもれびホール)
 7 月 広報等配布事業改善プロジェクトチーム発足
 11 月 貢献表彰制度検討プロジェクトチーム発足
 11 月 会員紹介・新規受注紹介による表彰制度開始

令和 2 年 (2020)

新型コロナウイルス感染症の拡大で各種会議等中止

- 3 月 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け委員会・部会・地域班
 会議・入会説明会・研修会等を中止
 6 月 第 10 回定時社員総会 (センター会議室) ※出席者は一部の役員のみ
 10 月 財団より (令和元年度) 優良シルバーとして表彰される

令和 3 年 (2021)

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言

- 6 月 第 11 回定時社員総会 (センター会議室)
 新型コロナウイルス「感染症による緊急事態宣言」
 新型コロナウイルス「感染拡大に伴い各種活動が中断」
 東京オリピック・パラリンピック開催

令和 4 年 (2022)

華工房・家具リサイクルが環境アワード受賞

- 6 月 第 12 回定時社員総会 (こもれびホール)
 9 月 多摩市シルバー人材センター視察・研修
 11 月 「第 1 回にしようきよう環境アワード」で表彰される

「華工房」と「家具リサイクル」が表彰される

令和 5 年 (2023)

インボイス制度開始
新組織発足、委員会体制へ移行

- 1 月 スタートダッシュの集い (こもれびホール) ※3 年ぶりに開催
 4 月 「ほっとサロン泉町」開設
 6 月 第 13 回定時社員総会 (こもれびホール)
 10 月 インボイス制度開始
 11 月 新組織発足 (部会 ↓ 委員会体制へ)、各委員会開催
 11 月 「第 2 回にしようきよう環境アワード」で表彰される

令和 6 年 (2024)

フリーランス・事業者間取引適正化等法施行
第 1 回乗って学べる自転車教室を実施

- 3 月 広報誌発行の改定決定 年間 4 回、※広報誌名「きずな」
 4 月 第 4 次中期計画スタート (令和 6 年 4 月 ~ 令和 10 年 3 月)
 5 月 「乗って学べる自転車教室」開催 (田無自動車教習所)
 6 月 第 14 回定時社員総会 (こもれびホール)
 7 月 広報誌「きずな」発行 ※シリーズ「私たちの職場」掲載開始
 11 月 「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」施行
 「第 3 回にしようきよう環境アワード」で表彰される

令和 7 年 (2025)

ポイント制度開始

- 4 月 ポイント制度開始
 ホームページをリニューアル
 5 月 「乗って学べる自転車教室 II」開催 (田無自動車教習所)
 6 月 第 15 回定時社員総会 (こもれびホール)
 10 月 Tokyo シルバー 50 周年フェス (東京ドームブリズムホール)
 11 月 「第 4 回にしようきよう環境アワード」で表彰される ※4 年連続

令和 8 年 (2026)

創立 25 周年記念として特集号を発刊する

- 1 月 スタートダッシュ 2026 (こもれびホール)
 2 月 就業会員向け接遇マナー研修会を開催 (アスタ市民ホール)
 4 月 『まっCHA』と『まっTARI』みんなで楽しむ茶道教室の開講
 5 月 「乗って学べる自転車教室 III」開催 (田無自動車教習所)
 6 月 第 16 回定時社員総会 (こもれびホール)

35 地域班の代表班長の一言

北東部ブロック

中町 2 班 班長 石井 芳子

中町 2 班は 1 班と合同で班会議を開いています。今期は 3 期目に入り班長、副班長のメンバーも変わらず協力して努めてまいります。各班会員様は心優しく紳士で、何かと協力して頂き助かります。私も長い班長務めで心が通っているような気がします。ボランティアの参加者も以前より増えています。ポイント制度も良かったと思います。3 月の班会議においても今現在の仕事と健康状態も良いとのアンケートを頂きました。また、高齢になられ退会される方もいらつしやいます。長い間、市報配布の仕事を頂き感謝しています。市報配布はシルバーセンターの大切な仕事の一部です。市民の皆様には配布する義務があり、それを待っている市民の方々が大勢います。入会された方には市報配布を必ずお願いしています。

夏の暑い日、冬の寒い日など大変だと思えます。ご自分の身体を気遣いながら頑張ってください。



中部ブロック

住吉町班 班長 西本 周蔵

住吉町班では、班長として「班員（41 名）」と機会あるごとにコミュニケーションを取ることを基本に、特に市報配布者 15 名の課題対応に力を入れています。「高齢なので辞めたい、ケガしたので代行者を探して欲しい」とあるように、急な人員調整が頻繁に発生します。今回の大きな取り組みは、市報配布拠点の変更です。10 年以上担当してきた方が高齢で辞退し、後任が見つからなかったため、拠点の在り方を抜本的に見直ししました。新方式では、個人に依頼せず団地の集会所を活用し、月 2 回の市報配送日は班長・副班長がローテーションで立会い、引取時間は 2 時間としました。また、配布報告書は班長宅へ投函し、班長がセンターへ報告する形に統一しました。4 月 15 日号からは谷戸都営住宅集会所を拠点として運営を開始。市報配布は「市政内容を市民に報知する重要な仕事」であり、今後は公共施設活用が進む場合、市役所との調整をセンターに期待しています。



西部ブロック

谷戸町 1 班 班長 伊藤 美雄

谷戸町 1 班は西部地域に位置し、西部圏域 10 班の中で最も多い 84 名の会員を擁する班です。班運営で特に重視しているのは情報共有で、班会議の前には全会員へ葉書を送り、返信で①就業状況②意見・要望③市報配布希望を確認しています。会議ではまず新入会員の紹介を行い、その後全員が自己紹介をして交流を深めています。また、担当理事からセンター全体の状況報告、班長からは年 3 回の班長会議の内容を共有しています。

休憩後は自由討議を行い、誰もが一言発言できる雰囲気づくりを大切にしています。発言しやすいテーマを設定し、問題点や改善策を全員で考えることで、次につながる会議を目指しています。今後はごみゼロ運動や踏切見守り、合同パトロールなどのボランティア活動への積極的な参加を呼びかけ、年 2 回の班会議を楽しく有意義な時間にしていきたいと考えています。



南部ブロック

新町班 班長 赤塚 真三

新町班は会員 50 名前後の班です。班の行事は地域での交流を第一として、全員が就業の他、健康、趣味など活発な近況報告を行い盛り上がっています。班会議、ごみゼロ運動とも半数程度の会員が参加し、10 月の地域合同パトロールは積極参加、6 月は暑気払いの会、10 月は BBQ、1 月は新年会と顔をあわせて語り合い、地域でのつながりを育んでいます。



委員会・部会の紹介

総務委員会

平成 23 年当時『企画総務委員会』として『委員会の下に「総務部会」・「広報部会」・「研修部会」があった大きな組織体でした。その後、令和 5 年 10 月 1 日の組織改正で「広報部会」は「広報委員会」として独立した組織体に、また、「研修部会」が行っていた「新入会員研修部会」を「事業委員会」へ移転、「新入会員説明部会」を「企画総務委員会」へ統合、名前を現在の「総務委員会」に変更し新たなスタートをきりました。

また、令和 8 年 4 月 1 日で「新入会員説明部会」を新たに設立された「研修部会」へ移し、新生総務委員会としてスタートを切りました。今後は、センターの事業運営に関する企画、計画策定から進行管理の調整を行いながら、「高齢会員対策」・「独自事業の拡大」・「会員の増強に関する促進方法の検討」・「イベントへの参画に関する各委員会との連携・連絡・調整」を行います。



事業委員会

令和 8 年度に 25 周年を迎え、事業委員会は新たな気持ちで活動をスタートしました。4 月 7 日（火）10 時より第 1 回事業委員会を開催し、6 名体制で取り組んでいます。事業委員会の業務内容は『就業開拓の拡大』『交代要員の応募対策』『未就業者の減少対策』などです。

昨年度まで担当していた新入会員研修会は、将来を見据え研修部会へ移管され、人材育成の充実を図っています。また、現状の課題を分析し、「就業マニュアルの作成」「会員同士のコミュニケーション活性化」「スキルアップ強化」などの改善にも取り組みます。今後は会員一人ひとりの意見を取り入れ、意識改革を進めながら、10 年先・20 年先を見据え、会員・理事・事務局が一体となつて活動を推進するとともに会員が日々の業務を丁寧に行う事の一翼を担っていきます。



地域・ボランティア委員会

地域ボランティア委員会は 7 名体制で、地域への貢献と地域班活動の活性化に取り組む委員会です。

春・秋の交通安全運動で田無駅前踏切の事故防止として踏切見守りボランティアに努めてまいりました。また、保谷庁舎や MEG パークでの地域合同パトロールでは、市長も参加し、防犯標語の読み上げを行いながら地域の防犯意識向上に貢献しました。さらに、ごみゼロ運動では、非常に多くの参加者を得て、美化活動を推進しました。年末特別警戒やどんど焼き、東京マラソン応援イベントへの参加など、年間を通じて幅広い地域行事を支えています。加えて、ペットボトルキヤップの回収や地域協力ネットワーク会議への出席など、継続的な地域貢献も行っています。これらの活動は、地域の会員の皆様の協力あつてこそ成り立つものであり、今後も温かいご支援をお願い申し上げます。



安全管理委員会

安全管理委員会は、会員の皆さまの安全就業と日常の健康な生活を希求して活動しております。安全就業に関しては、隔月で各事業所の安全パトロールを実施しているほか、年に一度の自転車安全講習会（乗って学べる自転車教室Ⅲ）や、夏季の熱中症対策などを行っています。今年度からは、西東京消防署の協力を得て防災訓練も新たに実施予定です。健康面の取り組みでは、これまで 10 年間にわたりフレイルチェックを続けてきましたが参加人数の伸び悩みや、全国シルバー人材センター事業協会の新たな方針を踏まえ、現在の東大方式を見直す時期にきていると感じています。そのため今年度からは、より身体的な実感を得られるフレイル予防を中心とした内容へ刷新し、秋ごろの実施を目指して準備を進めています。また、AED が設置されている職場の就業者を対象に、AED 講習会を年 1 回開催しています。加えて、安全就業標語の募集などを通じて、安全意識の向上にも取り組んでいます。今後とも、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



広報委員会

広報委員会は、センターの PR と会員のコミュニケーション強化のために、次の広報活動をおこなってきました。

広報誌は、令和 6 年 7 月号より名称を「ぎずな」と改め、会員の就業を紹介する「私たちの職場」をシリーズ化、読みやすい紙面構成にするなどの改訂をしました。今後も皆様が興味ある記事になるように取材、編集をおこなってまいります。

ホームページは、情報のタイムリーな発信、必要な情報への簡単なアクセスなど全面的な改訂を行い、令和 7 年 4 月に運用を開始しました。今後も一層充実したものにすべく適宜改訂をしてまいります。

パンフレット、リーフレットは、当センターの PR 強化、仕事の受注促進、新入会員の募集促進に繋がるように内容の改訂を行い、リーフレットを令和 7 年 12 月に市内全戸に配布しました。

今後も、センターの理念、活動を地域に広く伝え、会員皆様役に立つ広報活動に努めてまいります。



女性委員会

女性委員会は、①華工房②リフォーム③家事援助④包丁研ぎの 4 つの部門で構成された独立事業です。

①華工房は 30 名の女性会員が市民の皆様にいただいた思い出の着物一枚からハンドバック、布草履、洋服など、数々のリメイク作品を販売、実演をしております。

②リフォームは毎週事務局で作業、着物から洋服へ、寸法直しなどおこなっております。

③家事援助は地域社会の貢献を目的とし「暮らしの中のお手伝い」を致します。コーディネート、9 名、その先に 101 名の会員が登録し、市民の皆様には小さなお手伝いが出来ればと、日々活動しております。

④包丁研ぎはメンバー 8 名で「包丁研ぎます」の旗を掲げて、アスタ、事務所で行い、皆様に感謝されています。その他「女性会員の集い」を年 2 回開催、皆さん次回が楽しみですと声を寄せて下さいます。女性委員会は、明るく、楽しく、生き生きと、西東京市シルバー人材センターの顔として頑張ります。



就業委員会

公益社団法人西東京市シルバー人材センターでは、理念に基づき「適正就業の推進及び効率的な就業の確立」を目的として就業委員会を設置しています。「センターの適正就業の推進及び効率的な就業の確立を目的として理事会の下に就業委員会を設置する」。委員会では、会員が安心して働ける環境づくりのため、適正就業の審査・指導、就業制限時の交代要員の最終選考、中途就業時の最終選考など、就業に関する重要事項を検討します。

また、必要に応じて新たな就業開拓にも取り組み、地域における高齢者の活躍を支える役割を担っています。委員会は理事会の承認を得て選任された 6 名以内の委員で構成されています。



研修部会

研修部会は、令和 8 年 4 月から始動致しました。従来、総務委員会で行っていた入会説明会と事業委員会で行っていた新入会員研修会の二つの委員会が一つの部会で運営することになりました。軌道に乗るまでは今しばらく時間を要することと思います。個性豊かな 6 名の研修部会員が一人となって頑張っております。シルバー人材センターの事業理念であります「自主、自立」「共同、共助」を理解して頂き、賛同された方が 4 月の入会説明会では 14 名、5 月は 37 名、入会されました。研修会でも 4 月 11 名、5 月は 14 名が新入会員研修会を受講され、就業に備えておられることと思います。また 4 月 6 日は新班長研修も行い、新班長になられた方々も張り切っております。

今後は、事業委員会から引き継いだ様々な研修を企画して参ります。





「第 16 回定時社員総会の受付と表彰された皆さん」



歴代三役の遍歴（平成 23 年～）			
年次	会 長	副会長	事務局長
H23	下栗 庸隆 (H21/6～)	澤田 壽弘 (H21/6～)	白井 清美 (H22/4～)
H24	↓	↓	下田 雅男
H25	澤田 壽弘	横内 京子	↓
H26	↓	↓	村野 啓二
H27	渡邊 康生	澤田 壽弘	↓
H28	↓	柳澤 進	↓
H29	↓	↓	↓
H30	↓	↓	↓
R1	↓	↓	成田 始
R2	↓	↓	↓
R3	堀 康隆	對馬 明夫	↓
R4	↓	↓	岡村 保彦
R5	↓	松山 芳幸	白井 清美
R6	↓	↓	↓
R7	松山 芳幸	田代 美代子	↓
R8	↓	↓	↓



代表理事	松山 芳幸
会長	田代 美代子
代表理事	白井 清美
副会長	市村 由紀
業務執行理事	梅本 一雄
常務理事	金子 秀一
理事	菅野 勝人
理事	塚越 一巳
理事	中園 法子
理事	山内 幹子
理事	山越 保彦
理事	池嶋 達也
外部理事	柳澤 進
外部監事	白瀬 有季子

理事・監事名簿一覧

（令和 8 年 4 月 1 日現在）

統合から 25 年を無事に迎えることができました。これもひとえに会員皆さまのおかげと心より感謝申し上げます。高齢社会の中で、地域の担い手として、センターの社会的役割は一層重要なものになっていくと同時に、事務局の役割も重要になっていくものと予想されます。

事務局一同、今後も全力を尽くして、会員皆さまが活躍できるよう努めていきます。引き続き何卒よろしくお願いいたします。

職員体制

事務局長 兼 常務理事 白井 清美

次長 林田 佐由理

主任 本橋 昌紀

主任 清水 健一

主任 篠永 澤

主任 黒崎 翼

継続雇用職員 下田 武司

嘱託職員 鈴木 久美子

臨時職員 小高・坂口・原・矢野



職員のみなさんから

圏域・町別会員数 総数 1,188 名

(令和8年4月1日現在)



会員数と契約額の推移

